

市立幼稚園一時預かり事業の利用状況について

1. 事業の目的

幼稚園においては、子どもの育ちの変化や社会の変化に対応するため、国が定める「幼稚園教育要領」に基づき、子どもの発達や学びの連続性の確保をはじめ、預かり保育などの子育て支援を積極的に展開することが求められている。

こうしたことから、モデル園3園を選定し一時預かり事業を試行することで、子育て支援の充実を図る。

2. 事業の概要

舞鶴・宗方・大在幼稚園において、自園の園児を対象に、通常の保育終了後及び長期休業日（夏季・冬季）に、保護者の希望により17時30分まで有料で園児を預かる。なお、一時預かりの時間は、園の職員とは別に専任職員を配置している。

	8:30	14:00	15:00	17:30
通常保育日	通常保育		無料	1回400円
長期休業日	1回800円 ※ただし、4時間以内の利用は400円			

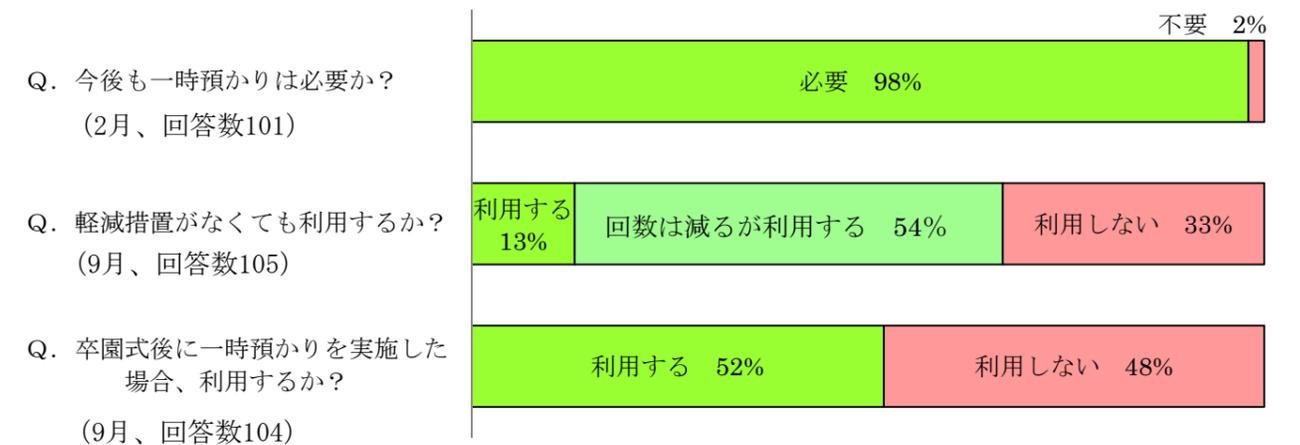
※ 軽減措置・・・無料の時間も含めて月16日以上利用した場合、4,000円を上限に利用料軽減

3. 利用状況

施設 (H29園児数)	実施区分		28年度		29年度	
			1日平均 利用人数	1日平均 利用割合	1日平均 利用人数	1日平均 利用割合
舞鶴幼 (55人)	通常 保育日	15時まで	24.4人	49.7%	33.1人	60.2%
		15時以降	4.4人	9.0%	6.2人	11.2%
	長期休業日		10.3人	20.9%	12.5人	22.7%
宗方幼 (42人)	通常 保育日	15時まで	28.9人	70.4%	33.1人	78.7%
		15時以降	7.1人	17.2%	5.0人	11.8%
	長期休業日		9.8人	23.8%	9.0人	21.5%
大在幼 (30人)	通常 保育日	15時まで	15.9人	51.2%	11.9人	39.6%
		15時以降	4.1人	13.3%	3.7人	12.2%
	長期休業日		3.6人	11.5%	5.4人	18.1%
合計 (127人)	通常 保育日	15時まで	69.1人	57.1%	78.1人	61.5%
		15時以降	15.6人	12.9%	14.8人	11.6%
	長期休業日		23.6人	19.5%	26.9人	21.2%

※ 各年9月末時点の数値で、長期休業日は夏季休業中の利用のこと

4. アンケート結果（※ 在園児の保護者全員へ、平成29年2月と9月にアンケートを実施）



＜保護者の感想＞

- ・働くのはもう少し先だろうと思っていたところ、預かり事業が始まり、働くことができるようになり、とても助かっている。
- ・親としても、安心して家のことやリフレッシュに時間が使えありがたい。
- ・降園後は、近所の子どもたちと遊ぶこともなく周りに知り合いもない状況なので、一時預かりを利用することで友達と遊べ、子どもはとても楽しんでいる。
- ・月16日以上の利用で軽減措置の対象となるが、場合によっては15日以下の方が1ヶ月分の利用料が多くなっているため、見直してほしい。

5. 事業の効果

- ・一時預かりを実施することで、保護者の就労支援やリフレッシュにつながり、保護者のニーズに沿ったサービスの提供ができた。
- ・通常保育後に帰宅しても近隣に遊ぶ友だちや場所が限られている中、一時預かりを実施することで、同年代の友だちと家庭的な雰囲気でも過ごせる環境を提供するなど、園児の健やかな成長を支えることができた。

6. 事業の課題

- ・卒園式後に実施した場合、52%が「利用する」と回答する等、高いニーズがあることから、実施に向けた検討が必要である。
- ・月16日以上の利用者と月15日以下の利用者では、軽減措置の関係で保護者負担に差が生じ、受益者負担の観点から検討が必要である。
- ・専任職員の確保が難しい状況である。